

「脳活性化プラス®」実践士と取り組む

確かな改善実績の脳機能訓練

WHO（世界保健機関）は、脳機能訓練（認知トレーニング）が「認知症予防」対策の1つであるとして推奨しています。わたしたち「脳活性化プラス」実践士は、利用者さんの脳機能のレベルに合わせて多様な脳機能訓練プログラムを提供できます。

「ワーキングメモリ」が衰えると…

（作業に必要な記憶を一時的にとどめておく脳のはたらき）

- ・カギを閉めたかいつも不安になる
- ・なべの火を消し忘れる
- ・必要なものを買い忘れる
- ・家事をするのに異常に時間がかかる
- ・冷蔵庫の整理ができない
- ・服薬を正しくできない



「記憶力」が衰えると…

- ・同じことを何度も言う、聞く
- ・探し物が多い
- ・大事な約束を忘れる

?



「空間認識力」が衰えると…

- ・知っている道で迷う
- ・一人で出かけるのが不安

「前頭前野」が衰えると…

- ・季節にあった着衣ができない
- ・ボーっとしていることが多い
- ・ささいなことで怒る
- ・ものの名前が出てこない

「注意分割力」や下肢筋力が衰えると…

- ・転倒してけがをする
- ・歩くのが遅くなる



脳活性化プラス・実践士のサポートにより、「認知症予防・進行予防」に安心して取り組むことができます。

【施設名】

脳活性化プラス実践士

氏名